

# かご薬通信

お薬を通じて、地域の皆様の健康づくりに貢献します。

## 鹿児島市薬剤師会の役割

- 鹿児島市薬剤師会では  
● 夜間救急薬局の運営  
(鴨池2丁目にあります)
- 学校薬剤師の活動支援  
(照度、プールの塩素濃度測定などの環境検査等)
- 地域住民への講演活動(公民館などで開催)
- 「お薬相談」、「薬草展」などの開催
- かかりつけ薬局の推進  
(ぜひ、薬剤師を活用して下さい)
- 処方せんFAXコーナーの運営  
(ご希望の薬局へFAXします)
- 薬剤師、薬学生の資質向上のための研修
- 働く世代の健康を支援  
(環境改善や健診支援、両立支援など)
- 災害対策に関する支援  
(人材育成や災害時の救援活動など)

これらを通じて、鹿児島市民のみなさまの保健・医療・福祉の向上に寄与し、貢献することを目的として活動しております。

鹿児島市薬剤師会を、よろしくお祈りします。

### ご挨拶

皆様が健康な生活を送るための身近な相談窓口であり続けます。

KPA 鹿児島市薬剤師会 会長 谷口 欣平



鹿児島市薬剤師会の850名余りの会員は、市民の皆様の健康福祉の増進、医薬品の適正使用の為、薬局、病院など様々な職場で地域医療の一翼を担っております。特に薬局では、皆様の健康相談やセルフメディケーション、在宅医療など気軽に相談できる健康サポート薬局の推進、そして患者様の処方薬、一般用医薬品、健康食品等まで一元管理をして、副作用や医薬品が適正に使用されているか確認できる「かかりつけ薬局・薬剤師」を目指して日々努めております。コロナ禍の時代、皆様の生活様式が変わろうとする中、我々薬剤師も薬だけではなく、公衆衛生の専門家としても地域に貢献していきたいと考えております。引き続き本会として会員をお引き立て頂ければ幸甚に存じます。

2023年3月

## 活用しましょう! お薬手帳

### 持参しましょう!

- 同じ成分の薬が処方されていないか、飲み合わせが悪くないかチェックしてもらおう事で、安心して薬を使用することができます。

### 記入しましょう!

- 基本情報は必ず記入しましょう。
- お薬を飲んだ時の体調変化や気になったこと、また、検査結果などを記入しておくことで役立ちます。

### 一冊にまとめてみましょう!

- 飲んでいる全てのお薬を1冊にまとめる事で、効果的にチェックしてもらえます。

### 電子お薬手帳を活用してみましょう!

- 家族・介護している人の薬をまとめて管理することができます。
- アラーム機能を利用して、飲み忘れ防止に活用できます。

副作用防止、急病・災害などの緊急時  
お薬手帳は、あなたの命を守ります



## 夜間救急薬局のご案内

「鹿児島市薬剤師会夜間救急薬局」の業務は、夜間急病センターからの院外処方せん応需が主ですが、夜間の当番歯科やその他の医療機関からの処方せんなども受け付けます。勤務している薬剤師は、主に市薬剤師会の会員が協力して、ローテーションを組み運営しています。市民の方からのお薬に関する問い合わせなどにも応じていますので、ぜひご利用ください。

### 鹿児島市薬剤師会夜間救急薬局

鹿児島市鴨池2-22-18 (鴨池交番隣)

tel.099-206-2811

fax.099-206-2812

(開局時間)  
月～土：午後7時～翌朝7時  
日祝日：午後6時～翌朝7時



鹿児島市薬剤師会の役割  
鹿児島市薬剤師会 会長 谷口 欣平  
活用しましょう! お薬手帳  
夜間救急薬局のご案内  
スポーツとドーピングの知識  
電子処方せんってご存知ですか!?  
薬草に関する取り組み

2023  
燃ゆる感動  
かごしま国体・かごしま大会  
特別国民体育大会 特別全国障害者スポーツ大会

鹿児島市薬剤師会は「つっかりドーピング」から選手を守るために、アンチドーピング活動を「おこなっています。」

鹿児島市薬剤師会 公認キャラクター「タスクロー」

鹿児島市薬剤師会 公認キャラクター「カブくん」

燃ゆる感動かごしま大会マスコット ぐりぶーファミリー「ぐりぶー」

燃ゆる感動かごしま国体マスコット ぐりぶーファミリー「さくら」

鹿児島市薬剤師会 公認キャラクター「かぶちゃん」



## スポーツとドーピングの知識

2023年10月7日から17日まで燃ゆる感動がごしま国体、10月28日から30日まで燃ゆる感動がごしま大会が開催されます。アスリートは競技に出場するにあたりアンチ・ドーピングの知識が必要になります。競技能力を増幅させる可能性がある物質や手段を不正に使用することをドーピングといい、スポーツの基本理念であるフェアプレイに反する行為、スポーツの価値を損なう行為として禁止されています。

### ～サプリメントや漢方薬は大丈夫？～

病院で医師から処方される医療用医薬品のみでなく、薬局やドラッグストア等で購入できる市販薬にも禁止物質は含まれています。また、サプリメントや漢方薬も注意が必要です。

サプリメントは食品に分類され、すべての含有成分を表示する必要がないため、禁止物質が含まれていないという保証はできません。漢方薬を構成する生薬の中にも明らかに禁止物質を含むものがあり、さらに漢方薬に含まれる全ての物質が明らかになっているわけではありません。そのため、禁止物質を含まないと断定することが困難です。これら禁止物質を含む医薬品などをそれとは知らずに病気を治療する目的で服用し、結果的にドーピング違反になってしまうことを「うっかりドーピング」といいます。

### ～禁止物質は治療目的で使える？～

病気やけがの治療目的に禁止されている物質を使う必要がある場合、まずは、医師や薬剤師に「禁止物質でない薬に変えることはできないか」を相談しましょう。もし禁止物質でないで治療ができない場合、治療使用特例(TUE)を申請し、認められればその禁止物質や禁止方法を治療のために使うことができます。特にパラアスリートの皆さんはこの確認が重要になります。

### ～相談しよう! スポーツファーマシスト～

スポーツファーマシストとは最新のアンチ・ドーピングに関する知識を持つ、JADA(日本アンチドーピング機構)が認定する薬剤師です。アスリートやその家族、サポートスタッフの心強い相談先として全国で活躍しています。



日本アンチ・ドーピング機構のホームページは右記のQRコードから



お近くのスポーツファーマシストをお探しの際は、右記のQRコードからホームページで検索してください



04がごしま国体承認第1-50号

## 電子処方せんってご存知ですか!?

### ～電子処方せんってなに?～

電子処方せんとは、これまで紙で発行していた処方せんを電子化したものです。患者さんが電子処方せんを選択し、医師・歯科医師・薬剤師が患者さんのお薬情報を参照することに対して、同意をすることで、複数の医療機関・薬局をまたがる過去のお薬情報にもとづいた医療を受けられるようになります。結果として、今まで以上に安心してお薬を受け取ることが可能となります。

### ～電子処方せんのメリットとは?～

#### ①複数の医療機関・薬局間での情報共有が可能に!

複数の医療機関・薬局をまたがる過去のお薬情報を医師・薬剤師と共有することができます。同じ成分のお薬をもらうこと(重複投薬)や良くないお薬の飲み合わせを防ぐことができ、安心安全な医療に繋がります。

#### ②自分のお薬情報が確認できる!

マイナポータルでご自身の直近のお薬情報を確認することができます。飲み合わせの確認等が可能になり、日常生活におけるお薬関連のリスクを抑えることができます。

#### ③診療やお薬の受け取りが便利になる!

処方せんが電子化されるため、薬局に処方せん情報をあらかじめ送ることができます。オンライン診療なども受けやすくなります。

このポスターが目印!



### ～電子処方せんを利用するためには大きく 3step!～

#### STEP.1

医療機関の窓口で電子処方せんを選択

#### STEP.2

電子処方せん 対応薬局で受け付け

#### STEP.3

調剤されたお薬を受け取る

厚生労働省では電子処方せんのメリット解説や電子処方せんの利用方法の動画も紹介されています。右記のQRコードから確認してみてください。

より安心してお薬が服用できるよう電子処方せんを選択してみてはいかがでしょうか。



参照:厚生労働省ホームページより

## 薬草に関する取り組み

薬剤師会では、かごしま健康の森公園における「薬草園めぐり」や、かごしま環境未来館での「市民講座」へ講師の派遣を通じて、市民のみなさんへ薬草に関する正しい知識を持っていただき、普段の暮らしの中にも取り入れてもらうことや、間違った知識による健康被害を未然に防ぐことを目的として、事業を行っています。令和5年度は、新しい企画といたしまして、「自然薬草観察会」を開催いたします。この企画は、自然の中を散策しながら身近に自生する薬草を観察し、その効能や利用法などを学んで頂くものです。記念すべき第1回は、9月23日(土・秋分の日)に、熊本大学大学院の渡邊高志教授を講師にお招きし、手付かずの自然が残る鹿児島県の中心、「城山」の遊歩道を巡って頂く予定です。なお募集の開始は8月上旬を予定しております。多くの市民のみなさんのご参加を、こころよりお待ちしております。



※写真は2016年9月城山にて、鹿児島県薬剤師会漢方薬草同好会で分布調査を行った際の模様です。